

触れてはいけない、閉じ込めた愛の記憶。

ファーストラヴ

北川景子

中村倫也 芳根京子

板尾創路 石田法嗣 清原翔・高岡早紀

木村佳乃 窪塚洋介

監督：堤幸彦

脚本：浅野妙子

原作：島本理生『ファーストラヴ』（文春文庫刊）

音楽：Antongiulio Frulio

主題歌・挿入歌：Uru「ファーストラヴ」「無機質」（ソニー・ミュージックレーベルズ）

製作：『ファーストラヴ』製作委員会 制作：角川大映スタジオ/オフィスクレッシェンド 配給：KADOKAWA ©2021『ファーストラヴ』製作委員会

なぜ、彼女は父を殺さなければならなかったのか？

直木賞受賞 **ベストセラーサスペンス**、衝撃の映画化！

主演：北川景子 × 監督：堤幸彦 × 原作：島本理生

『スマホを落としただけなのに』

『十二人の死にたい子どもたち』『SPEC』シリーズ

『ナラタージュ』『Red』

あなたの<愛された記憶>を刺激する、 禁断のサスペンス・ミステリー誕生!!

その殺人犯は、
あの頃の私と
同じ目をしていて――

川沿いを血まみれで歩く女子大生が逮捕された。
殺されたのは彼女の父親。

「動機はそちらで見つけてください。」

容疑者・聖山環菜の挑発的な言葉が世間を騒がせていた。

事件取材する公認心理師・真壁由紀は、夫・我聞の弟で弁護士の庵野迦葉とともに
彼女の本当の動機を探るため、面会を重ねる。

二転三転する供述に翻弄され、真実が歪められる中で、

由紀は環菜にどこか過去の自分と似た「何か」を感じ始めていた。

そして自分の過去を知る迦葉の存在と、環菜の過去に触れたことをきっかけに、
由紀は心の奥底に隠したはずの「ある記憶」と向き合うことになるのだが…。

予測不能な結末と、タイトルの裏に隠された濃密なヒューマンドラマで第159回直木賞を受賞した、島本理生の小説『ファーストラヴ』。ベストセラーとなった“稀代の問題作”が日本映画界を代表するキャスト・スタッフで完全映画化。事件取材する公認心理師の主人公・真壁由紀を演じるのは幅広い層から絶大な支持を誇る北川景子。さらに中村倫也、芳根京子、窪塚洋介といった人気・実力ともにトップクラスの俳優陣のほか、木村佳乃、板尾創路、高岡早紀などの演技派から、石田法嗣、清原翔といった気鋭の若手まで豪華な顔ぶれが集い、迫真の演技で物語をよりリアルにエモーションに紡いでいく。監督は、数々のスタイリッシュなサスペンスで熱狂的なファンを生み出してきたヒットメーカー・堤幸彦。そして主題歌と挿入歌を手掛けるのは、その歌声と神秘的な存在感で注目を集めるシンガーソングライター・Uru。なぜ、彼女は父を殺さなければならなかったのか？ <ファーストラヴ>というタイトルに隠された事件の真相とは？禁断のサスペンス・ミステリーがここに誕生する！

製作：堀内大示、松井智、渡辺章仁、松本圭市、長坂信人、中部嘉人、中野伸二、田中祐介、森田篤、五十嵐淳之 企画：水上繁雄 プロデューサー：二宮直彦、高木智吾、小林誠一郎
撮影：唐沢悟 照明：木村匡博 美術：長谷川功 録音：渡辺真司 音楽プロデューサー：茂木英典 宮地祐輔 編集：洲崎千恵子 衣裳：宮本まさ江 ヘアメイク：菊地弥生 園部タミ子 装飾：谷田祥紀 記録：奥平綾子
VFXスーパーバイザー：岩崎朋之 音響効果：壺谷貴弘 スケジュール：白石達也 助監督：福留武 制作担当：藤波杏里 ラインプロデューサー：鈴木佳那子 プロダクション統括：千藤英久
製作：『ファーストラヴ』製作委員会 制作：角川大映スタジオ/オフィスクレッシェンド 配給：KADOKAWA ©2021『ファーストラヴ』製作委員会

firstlove-movie.jp @firstlove2021 #ファーストラヴ

2021年2月11日(木・祝) ROADSHOW

レビチカカード 発売中 ¥1,500(税込) 特典/オリジナルポストカードセット(5枚組) (※先着・数量限定) (一部劇場を除く)